

香川大学教育学部附属坂出小学校

第1回附坂小わくわくづくりワークショップ

本ワークショップへのご参加、ありがとうございます。

ご参加いただくにあたり以下のことに
留意してください。



- ①入室の際は【名前・所属・都道府県】を入力してください。
(例) 増田 洸一 附属坂出小学校 香川県
- ②マイクはOFFにしてください。
- ③録音・録画はご遠慮ください。
- ④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。
- ⑤飲食はご自由にどうぞ♪

☆本日のメニュー☆

はじめに

自己紹介

第一部(16:30~17:00)

- 1 クラスの温かい風土づくりのために
- 2 当番・系の運営の仕方
- 3 学級目標について

休憩(17:00~17:10) お悩み相談

第二部(17:10~17:40)

- 1 運動会のテーマの立て方、曲決め、構成づくり、指導のポイント
- 2 Q&Aコーナー
- 3 みんなで踊ってみよう

おわりに アンケート&質問タイム お悩み相談

今日お話する
メンバーです！



小出 早織	安岐 美佐子	増田 洸一	山口 誉之
(4→5)	(1→4)	(2→6)	(5→6)

Ⅰ クラスの温かい風土づくりのために
居心地○、安心○、自己表現○

大切にしていることってありますか？



Ⅰ クラスの温かい風土づくりのために 居心地○、安心○、自己表現○

大切にしていることってありますか？

認め合い

あいさつ

学習規律

信頼

人を大切にできる



クラスの温かい風土を作るためには・・・

☆3つのポイント☆

■認め合える心の育成

■子供を大切にする大人の姿や発言

■コミュニケーションスキルの育成



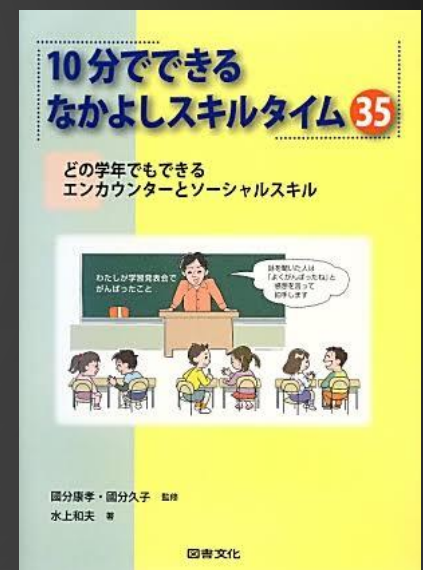
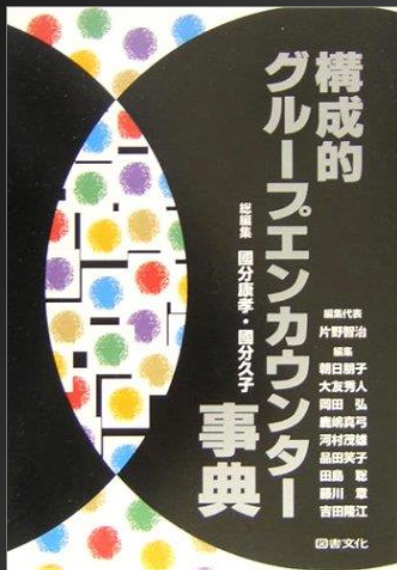
☆来週からすぐにできること☆

- 先生について自己開示
- 自分が大切にしたい柱決め
- よい姿の価値付け、共有
- コミュニケーションスキルの育成の場の設定



■コミュニケーションスキルの育成の場の設定

構成的グループエンカウンターと ソーシャルスキルを手がかりに



参考文献

構成的グループエンカウンターって知ってますか？



しんか じゃんけん

かみさま
↓
にんげん
↓
さる
↓
うさぎ
↓
かえる



「構成的」グループエンカウンターとは？

⇔ 「非構成的」グループエンカウンター

進行役（ファシリテーター）が事前に準備したプログラムに沿って進める。

構成的グループ「エンカウンター」とは？

自己や他者との出会い、深く親密な関係、心と心の触れ合い、本音と本音の交流などと呼ばれる。

グループエンカウンター

…数10名から数100名のグループで行うこと

→緊張がほぐされ、自由に効率よく主張・表現しやすい

構成的グループエンカウターの進め方



①インストラクション・・・教師の自己開示→抵抗を軽減

②エクササイズ（課題）



③シェアリング・・・感じたことや気付いたことの共有
→自己発見

④介入・・・リーダー（教師）の割り込み指導



ねらい 相互理解を促進する。

活動 二者択一「あなたはどっち？」

- ・二つのお題の好きな方を選ぶ。
- ・その理由について話し合う。



インストラクション

- ・「自分の考えを伝え合いながら、相手と自分の考えの違いを大切にし、仲を深めてほしいと思います。」
- ・「必ずどちらかは選びましょう。」

介入

- ・理由がうまく話せない子には、行った経験を引き出す声掛けをしたり、自分と違う友達の考えに納得している様子に対して、「自分と違う友達の考えも大切にできているね」などと価値づけする。否定的な言葉を使う子供がいたら、インストラクションの言葉を振り返る。

シェアリング

- ・「話合いの中で、感じたことや気付いたことを発表してください。」

一緒にやってみましょう

一緒にやってみましょう!
「二者択一 ～あなたはどっち?～」



「二者択一 ～あなたはどっち?～」
今回のお題は…

一人っ子と
兄弟多い

どのエクササイズを選べば？

①実施の目的

②子供の実態

③教師の願いや子供の思いや願い

④リーダー（教師）の経験度とエクササイズの特徴

選び方の留意点

- 動きのあるもの
- 分かりやすいもの

低 : 短く繰り返されるもの

中 : 協働して行うもの
友達のよさを知れるもの

高 : 自覚を高めるもの
小学校生活を振り返るもの



～他の活動集～

ねらい クラスの子供の実態に応じて活動を選択しましょう。

活動 「〇〇〇〇」 (10～15分程度)

インストラクション (1、2分)

- ・ 目的や活動のよさを伝える。

介入 (6～8分)

- ・ 参加が難しい子への支援や、目的を達成するための手立て。

シェアリング (3～5分)

- ・ 自己表現することによって明確化され、さらに共有することで、新しい自分を発見したり、他者への理解を深めたりすることができる。

これは
型

ねらい 一人一人の思いや考えに触れ、その子らしさに気付いてほしい。

活動 ブレйнストーミング 「学校にあるといいものは？」

方法

- ・グループで、お題に対してできるだけたくさんのアイデアを出し合う。
- ・友達と同じものは「同じです」と声高に言う。
- ・グループでいくつ出せたか、どんなアイデアがあったかを発表する。

インストラクション

- ・「たくさんアイデアを出しましょう。友達のアイデアを改良するのはOKだから、聞き耳を立てましょう」
- ・「否定的な言葉は使わないようにしましょう」

シェアリング

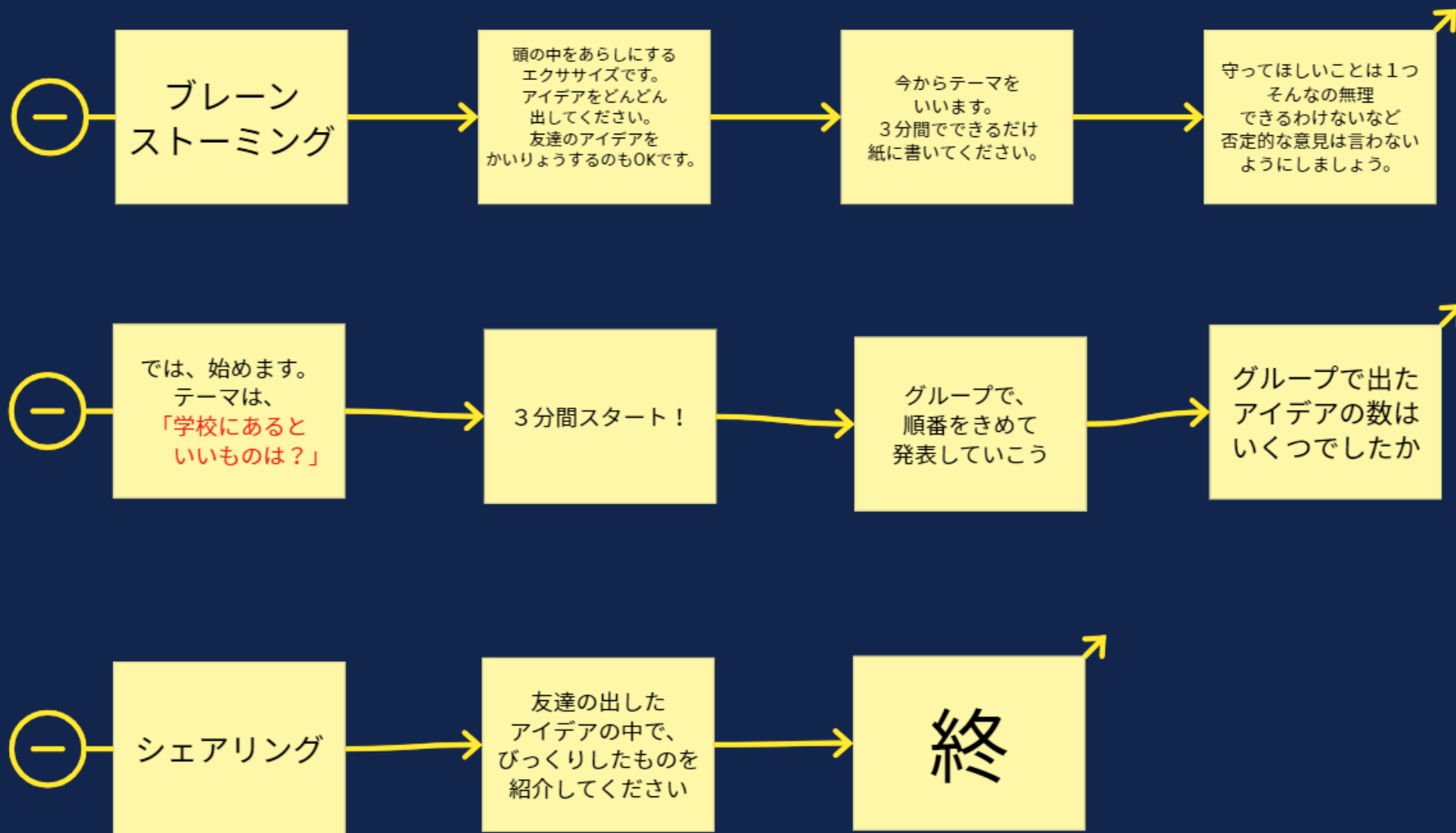
- ・「仲間のアイデアで『奇想天外』というものはありましたか」
- ・「自分のアイデアを活用してもらったとき、どんな気持ちでしたか」

介入

- ・否定的な発言をする子供には注意を促す。



学習支援アプリ「ロイロノート」のカードを使って



ねらい 学校生活の不安が大きい時期に、楽しく新しい友達と関わることで、安心する集団づくりを目指す。

活動 じゃんけん
(マッスルジャンケン、ラブリージャンケン)



方法 グー、チョキ、パーの代わりにマッスルやラブリーなポーズを使い、じゃんけんをする。

インストラクション

- ・「友達と楽しくポーズでじゃんけんしよう」
- ・「新しいと友達が増えそうですね」

介入

- ・「マッスル隊」や「ラブリー隊」のように、よりマッスル、ラブリーなポーズができている子供を紹介し、さらに楽しんで参加できるようにする。
- ・ペアを子供たち同士で自由に組むだけでなく、校内の先生対子供のような場を設定する。



シェアリング

- ・じゃんけんを通して、楽しい時間になったかを問うた後、どんなところが楽しかったのか問い、新しい友達と関わったことや多くの友達と関わったことを全体で共有する。

ねらい 友達と動きをそろえる喜びに気づき、仲間意識を育む。

活動 3時のおやつ

方法 教師や子供の好きなおやつとそのポーズを3つ決め、友達とタイミングを合わせてそのポーズをする。

インストラクション

- ・「友達と楽しくポーズがそろるかチャレンジしてみよう」
- ・「ポーズがそろると、友達とさらに仲良くなれそうだね」

介入

- ・「〇〇さんが、紹介し、さらに楽しんで参加できるようにする。」
- ・ペアを子供たち同士で自由に組むだけでなく、校内の先生対子供のような場を設定する。

シェアリング

- ・動きがそろわなくても、次はそろえようと意欲的に繰り返し挑戦していた姿を紹介したり、ポーズがそろったことでどんな気持ちになったのかを子供に問い、全体に広げたりすることで、いろいろな友達と関わる楽しさや集団の一員としての仲間意識が自覚できるようにする。



ねらい クラス替えによる不安感を和らげ、親和的な出会いをつくる。

活動 アウチでよろしく！

方法

- ・笑顔でやさしく相手の目を見つめ合う。
- ・人差し指同士の先を触れ合わせ、「アウチ」とあいさつする。



インストラクション

- ・「仲よくなるときには、あいさつの他に軽いふれあいもあると、親しさがわいて効果的です」
- ・「やさしいまなざしをつくってね」

介入

- ・ 恥ずかしがってためらっている子がいれば、教師が積極的に楽しむ。
- ・ 雰囲気停滞している場合は、ハイタッチをするかのように行う。

シェアリング

- ・ 「アウチをしてみて、どんな感じがしましたか」

ねらい 共通点を見いだすことで、知らないもの同士の親近感を高める。
自分の考え方を明確にする。

活動 四つの部屋

- ・ 部屋の四隅に選択肢を提示する。
- ・ 自分の答えに一番近いと思う場所に移動して、選んだ理由を話す。



インストラクション

- ・ 「似ている点を聞き合いましょう。同じ答えを選んでいても、理由がまったく同じということはないですね。違う点も探してみましょう」
- ・ 「相手の話は最後まで聞きましょう」

介入

- ・ 肯定的に受け止めて話せていることを認める。
- ・ 理由がうまく話し合えないグループには、教師が質問の仕方や聞き方をデモンストレーションする。

シェアリング

- ・ 「やってみて感じたことを話しましょう」
- ・ 「グループでどんなことを話し合いましたか」

ねらい 対人関係の不安・緊張を低減しながら、相手との関わりを深める。
他者の多様な面に気付く。

活動 アドジャン ～ステップ3～

- ・ 0か1を指で表す。
- ・ 出した指の数の合計と同じ番号の話をする。
(話の種例 好きな○○
0・・・場所、1・・・動物、2・・・教科、3・・・おにぎりの具材、4・・・色)



インストラクション

- ・ 「思っていることを話すと気持ちがいいし、友達の話聞いて、『へー』と思うことがありますよ」
- ・ 「周りの人はよく聞きましょう」

介入

- ・ 肯定的に受け止めて話せているか観察する。
- ・ 消極的な子供を誘って一緒にジャンケンをする。

シェアリング

- ・ 「友達のことを知ることはできましたか」

ねらい 自分と友達との共通点に気付き、親近感を高める。
自分や友達の固有性に気付き、それを楽しむ。

活動 友達ビンゴ ～好きな食べ物の巻～

方法

- ・ 9マスビンゴに好きな食べ物を書き込む。
- ・ グループで順番にカードに書いた好きな食べ物とその理由を言い、同じなら手をあげてもらい、お互いに丸をつける。



インストラクション

- ・ 「好きな食べ物が誰とどれくらい同じか楽しみだね。なかなかビンゴしない人は、特別な人かもしれないよ」
- ・ 簡単に好きな理由も言うから、それも考えながらやってみましょう」

介入

- ・ なかなかビンゴにならず落ち込んでいる子がいれば、ユニークな存在であることに気づかせ、肯定的に価値づける。

シェアリング

- ・ 「グループで好き食べ物を聞き合って、どんなことを感じましたか」

ねらい 友達に前向きな思いを伝える。また、友達からの肯定的なメッセージにより自己肯定感を高める。

活動 友達の日 ～メッセージ編～

方法

- ・まずは、グループの友達に向けてメッセージを書く。
(付箋紙：ありがとう…赤、頑張っているね…黄、〇〇博士だね・・・緑、ここがいいな…水 など)
- ・グループで交換する。
(・時間があれば、グループ以外の友達にも書いてもよい)



インストラクション

- ・「先生はみんなが、言葉にして伝えてくれて嬉しいなと思ったことがあります。みんなは？」

介入

- ・書けそうな付箋紙を選ばせる。
- ・嬉しくなるようなことばを載せたヒントカードを見せる。

シェアリング

- ・「書いたときやもらったときは、どんな気持ちでしたか」

ねらい 子供同士のつながりをさらに深めたい。教師と子供の心の距離を縮めたい。

活動 アドじゃん（ひたすらジャンケン、あいこでジャンケン）

方法

- ・できるだけ多くの人とジャンケン
- ・1～5本の指のいずれかを出し、同じ数なら○。同じ数が出るまで挑戦する。

インストラクション

- ・「いろんな人とジャンケンするゲームです」
- ・「相手と同じ数がでるまでジャンケンをします。同じ数になったら自己紹介と握手をして別れます。続けて、また新しい相手と行います」

介入

- ・肯定的に受け止めて話せているか観察する。
- ・消極的な子供を誘って一緒にジャンケンをする。

シェアリング

- ・「気持ちの変化はありましたか」



ねらい お互いのよさを認めたり、違いを受け入れられる集団にしたい

活動 ごちゅうもんはどっち？

方法

- ・グループで2択のテーマについて自分はどちらを選ぶか、考えを語る。
- ・10問用意しておき、時間の限り、複数の問題に挑戦できる。

インストラクション

- ・メンバーの発表を聞いて、気付いたことを伝えましょう。
- ・答えは1つではないので、みんな違ってみんないいのですよ。

介入

- ・どうしても選べないときは、バスをしてもよいと伝える。

シェアリング

- ・「やってみて気付いたことや感じたことはありますか」



ねらい 相手のことを考えて行動できるようになる。

活動 友情ペン

- ・お互いの人差し指でペンをもつ。
- ・ペンを落とさないようにして様々な動きをする。



インストラクション

「友達のことを考えながら、いろいろな動きにチャレンジしてみましょう。」

介入

- ・相手に合わせて動いていることを称賛する。
- ・失敗をしてもよいことを伝える。

シェアリング

「活動して、気付いたことがあれば、発表してください。」
「友達の良さを見つけることができましたか？」

ねらい 子供同士の関係を築いていく。

活動 テレパシー

- ・じゃんけんをして勝った方は1～3の数字を決め、目を合わせて相手に伝えようとする。
- ・負けた方は勝った人の考えている数字を予想して当てる。



インストラクション

- ・「友達の表情から考えている数を予想して、当ててみてください」

介入

- ・目を合わせることに抵抗がある場合は、別の方法で伝えてもよいことを共有しておく。
- ・参加しづらい子供と一緒にじゃんけんをする。

シェアリング

- ・「活動して、感じたことや気付いたことを発表してください。」

2 係・当番の運営の仕方



当番・係の**違い**って？

当番とは… 給食当番や掃除当番など、ないと困る活動のこと。

学級生活がスムーズに進むために**必要なもの**。

係とは… あったらいいな！ あったら助かる！
あったら楽しくなる！活動のこと。

学級生活を**よりよくしていくもの**。

低学年

「したい」という思いから出発
～責任感と自己有用感を育むために～



一人一役

→ お手伝いから当番活動へ。
自分の仕事を自覚。責任感の醸成。



活動場所への写真や名前の掲示

→ クラスへの帰属感。自己有用感。
継続して取り組める手立て。

やらされている感から「もっとしたい」へ

中学年 自分の得意を生かした活動

会社の名前 **イベント係**



理念【大切にしたい考え・目標】
クラス全員が楽しめるようにする。
イベントの時間を守る。

いつ	だれが	なにをするか
イベント中に	さきガ	司会をお
イベント中に	船月ガ	しゲームをよみあげる
イベントおけ中に	田 園 園	原こう書く
ゲームおけ中に	西山ガ	黒板に意見をかく(ゲーム)
イベントおけ中に	全員ガ	おりがみ、フッラパンを作る。(チカラガモ)

4 2024 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17 うしめ	18 かり	19	20
21	22	23	24	25 外 本	26	27
28	29	30	1	2	3	4

イベントの日はい、がとしめ

☆カンパニーのおきて☆

★クラスを楽しくもり上げるためにすること、クラスの友達が気持ちよくすごせるようにすることを目標にカンパニーを立ち上げること!

- ・何をしてよい。
- ・いつしてもよい。
- ・やめてもよい。
- ・一人でカンパニーを立ち上げて、一人社長のカンパニーでもよい。
- ・一人でいくつかのカンパニーを作ってもよい。



ただし...

- ・どこかに所属すること。
- ・入りたいと言った友達ことわってはいけな
- ・全然働いてくれないとクビになったり、倒産したりする可能性があるので注意しよう!
- ・ポイントが高いカンパニーがお楽しみ会の内容を決定することがで



カンパニーはクラスみんなが楽しくなるようにもり上げていくことを目標に、自分たちで自由にくふうして活動してください。

自分も楽しんで、クラスももり上がって一石二鳥ですね! しかも月末には決算が待っています。クラスをもり上げつつ、たくさんのポイントをGETしよう!!



◆得意だからこそ、主体的に取り組める。
→ 子供たちの自己肯定感が高まる。

高学年

任せることで育てる。信頼を築く。



デザインを任せる

→ 経験を生かし、0から作る経験をする。
企画・運営していく楽しさを感じる。

係・当番の吟味を任せる

→ 自分たちのクラスを自分たちが作る。
リーダーとしての自覚を高める。

何でもよい≠放任 一つ一つに意味や目的をもたせ共有する。

学級目標について



学級目標について

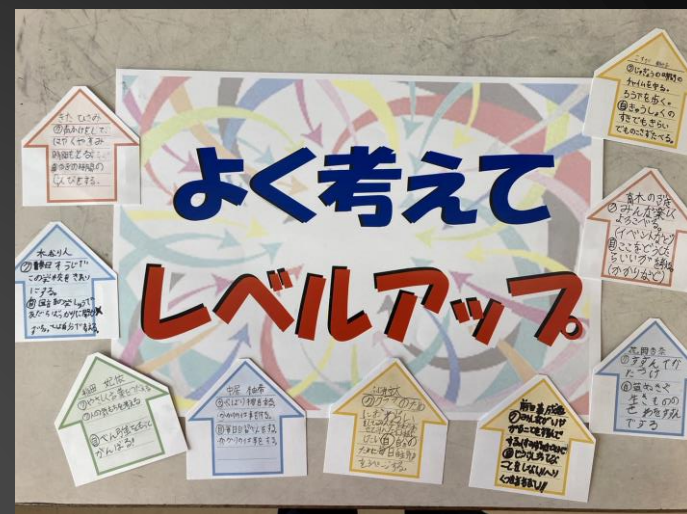
「無いと困る」ではなく、
「あると良い」をつくる！

「あると良い」にするためには…？

学級目標

（目標を作っているときの子供は…）

- ・ 学級目標って何だっけ…
- ・ 目標って何かな…（自分、クラス）
- ・ 学年末の姿はどうなっていると
いいのかな…どうなりたいのかな…



（一人一人を大切にした教師の思い）

- ・ それぞれが目標を明確にする
- ・ 一人一人の目標をみんなが知れる
- ・ 個々の成長にクラスみんなで寄り添う
- ・ 振り返りを行い、さらに意欲を高める



学級目標



（子供の思い）

- ・ 協力できるクラス
- ・ 一人一人がみんなのことを考えるクラス

【教師の願い】

- ・ 楽しくて、誰にとっても居心地の良いクラス
- ・ 個性を活かすことができるクラス

「集団において協力し合う 5 年西組」

…集団の中でそれぞれの個性を活かし、助けあったり協力し合ったりするクラス

学級目標



（子供の思い）

- ・ しあわせ → みんなが輝く
- ・ なかよく → つながる
- ・ あかるい → 心が晴れる

【教師の願い】

- ・ 認め合い、人を大切にできるクラス

「たいよう」

…みんなのよさや頑張りでみんなを照らす
自分や友達のおかげで心が温くなる

学級目標



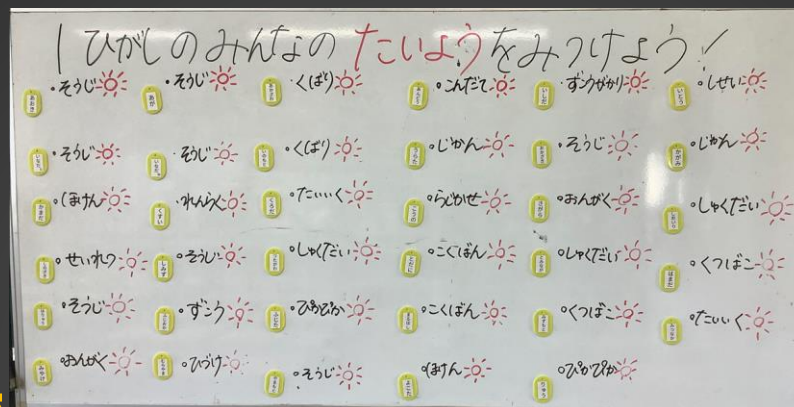
（子供の思い）

- ・ たいよう → 去年の成長を大切に
- ・ カッコいい3年生に → 一人一人がヒーローに
- ・ えがおいっぱい → 友達を大切にする

【教師の願い】

- ・ 勉強や考え、経験をつなぎ、人を大切にできるクラス

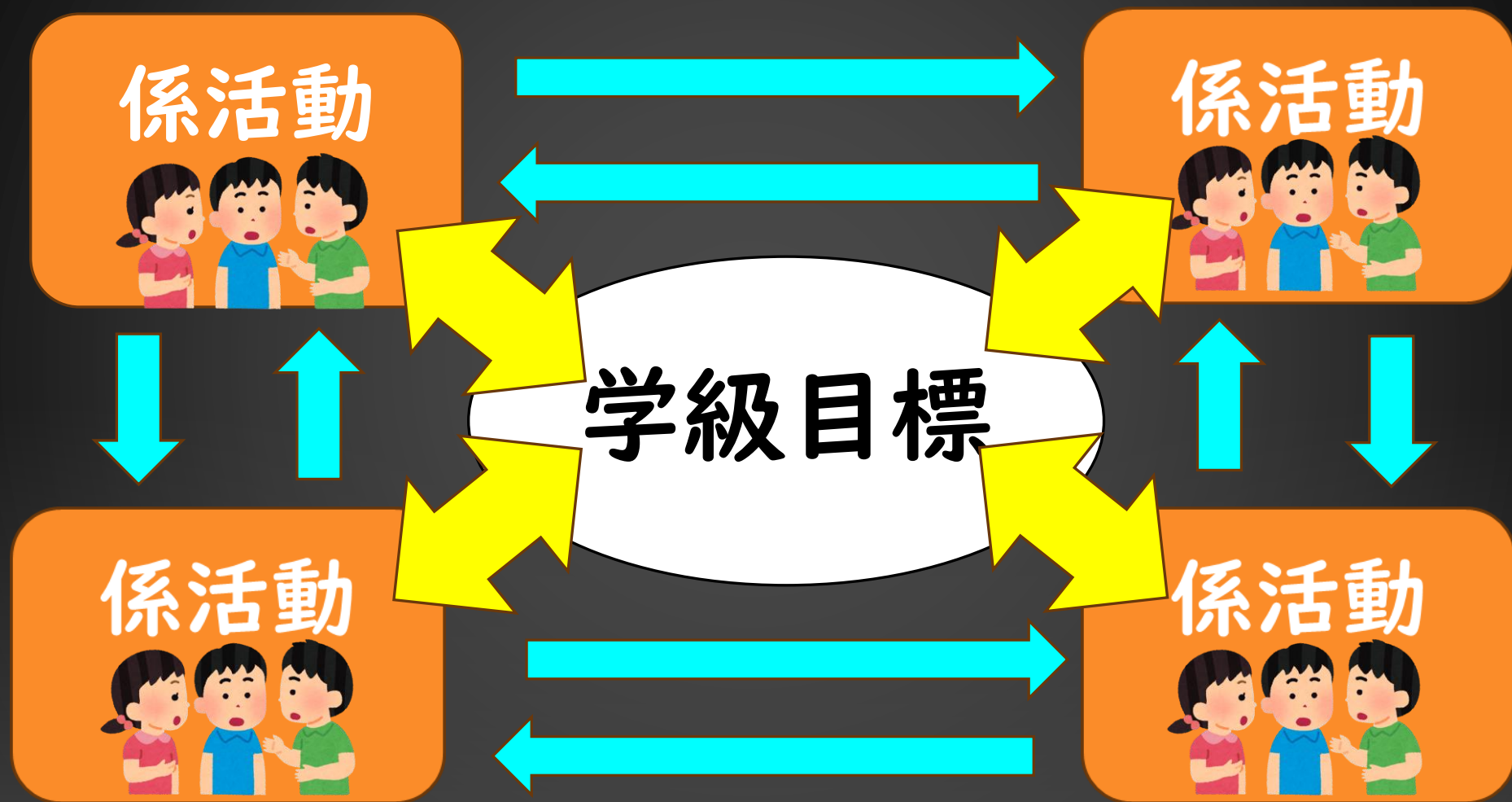
- ・ **学級経営**につなぐものとして
ホワイトボードにみんなの「たいよう」を見える化



- ・ **帰りの会で**
子どもや教師が「今日のたいよう」の紹介
○他者評価→安心感、行動の意欲化・継続化、
○自分には無い太陽→新たな気づき、学び合い

△どのように新たな「たいよう」を追加するか
△「たいよう」をもらうが目的にならないように

学級目標は、係活動とも相性ばっちり！



何かあった時にこそ！

- ・ その都度、立ち返るのは学級目標
子供たちの思いや願いがつまっている
みんなで決めた目標



- ・ 指導の基準

「それって学級目標と合ってるの？」
子どもたちが納得するのは？
みんなで決めた、共通の目標だから
やりたいと思えるのは？
達成感があるのは？

- ・ 掃除
- ・ 廊下歩行
- ・ あいさつ
- ・ 友達関係
- ・ 学習への取り組み方

...

学級目標は…

「無いと困る」ではなく、
「あると良い」をつくる!

大切なのは…

学級目標を日常的に使うこと

貼っているだけでは、意味がない…

みんなで決めたことを

みんなで守る！達成する！

やり遂げる！！

そして、みんなですくすく！！

お土産

大切にしていること

- ◆子供を見取り、見通しをもって意図的・計画的に指導
 - ・授業の中で
 - ・日々の生活の中で
- ◆よりよい人間関係や信頼関係を育む
 - ・発達段階に応じて
- ◆自発的、自治的な活動の充実を図る
 - ・子供の思いを表出できる場の設定
- ◆互いを認め合っている行動の称賛
 - ・みんなが参加、みんなで喜ぶ
 - ・配慮が必要な子供のために





低・中・高学年との関わり



学級として大切にしていること

低学年 学級が安心して過ごせる場であると思えるように

- ・さまざまな情報を得る
- ・友達とかかわる楽しさを味わわせる
- ・一人一人に役割を与える

⇒教室移動の「行ってきます」「行ってらっしゃい」 【所属感】

⇒友達と一緒に活動して、何かを達成した時にはハイタッチ【達成感】

⇒毎日の仕事(当番の仕事)を一人一役にして、クラスのために
役に立つと実感することができるよう 【自己有用感】

⇒下校の際には、ジャンケンやハイタッチで 【わくわく感】

学級として大切にしていること

中学年 友達同士の関わりから、自己の成長へ

- ・仲間と共に成長する場を設ける
- ・子供の思いを実現できる機会を設ける
- ・言葉を使い、目的意識をもたせて話し合う場を設ける

⇒個人の目標をクラスみんなで共有できるようにしておき、いつも応援したり、認め合ったりできるように 【協働】

⇒係ごとにイベントを企画し、実際に行い、次へつなぐ 【達成感】

⇒グループで課題解決する場を多く設定し、みんなの力で解決する喜びを味わえるように 【一体感】

学級として大切にしていること

高学年 互いに高め合い、学校の中で自己実現ができるように

- ・学級組織を民主的にし、学び合えるようにする
- ・学校のリーダーとなり、活躍を学級で支え合う
- ・「学級としての誇り」「学校としての誇り」を意識させる

⇒委員会では、子供たちが「学校をよくするために」という目的を
明確にしたうえで計画・実行・振り返りを **【企画力・運営力】**

⇒行事ごとに、「全校生のために」「どんな姿が理想か」を子供と
共有（将来や理想の自分を思い描かせて） **【想像力】**

⇒みんなのために動けたことを価値づける。 **【自己有用感】**

話し合いの場面では・・・

【自分の思いや考えを】

- ・相談する場
- ・伝える場
- ・説明する場

【自分と友達のを考えを】

- ・交流する場
- ・違う考えを見付ける
- ・同じ考えを見付ける

＊話し方・聞き方について

よい所を価値付けたり、全体で共有したりしていく



教師の役割として・・・

☆言葉を大切にしたら関わり☆



- ・ 教師が**モデル**になって （表情と動きは、おおげさに！）
→ 「なるほど！」 「すてき！」 「〇〇が～でいい！」
- ・ きつい言葉、嫌だと感じる言葉を聞いたときをチャンスと捉え、相手を否定せず、**受け入れる**言葉を
→ 「～と言うといいよ」 「〇〇という言葉はどうか」
「～と言われたらどんな気持ちになるかな」

思った通りになるのではない。
やった通りになる。

いいなと思ったことは、
子どもと一緒にやってみる！

成功か失敗の2択ではない。
失敗の先に成功がある。

「〇〇を通して、～を育てたい！」
目的を見失わずに。

貴重なお時間ありがとうございました！
月曜から子供たちと楽しく！

アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、
今後のワークショップをより充実させて
いきたいと考えております。

アンケートにご協力ください。忌憚
のないご意見をどうぞよろしくお願い
いたします。



肖像権についてのお願い

今日のご参加ありがとうございました。附属坂出小で行っているワークショップについて、本校の研究のまとめやSNSで情報を発信する際に、活動中の写真を使用することがあります。活動中の写真なので、お名前は載りません。使用にあたって、ぜひご協力いただけたら有難いです。もし、使用が難しい際は、お知らせください。



わくわく授業づくりワークショップのご案内

第2回目 5月30日(金)

「明日からできる道徳授業」

※香川大学の 清水 顕人先生来校

第3回目 5月31日(土)

「アシストガイド活用研修会」

※香川大学の 坂井 聡先生来校

第4回目 6月24日(火)

「特別支援の視点から見る学級経営」

※香川大学の 坂井 聡先生来校

申込については、本校HPより申込を順次受付中です♪

Instagramのご案内

体育の学習
楽しんでいます！！



音楽の学習
頑張ってます♪



4.26 金 第一部 (16:00-16:30)
第二部 (16:30-17:00)

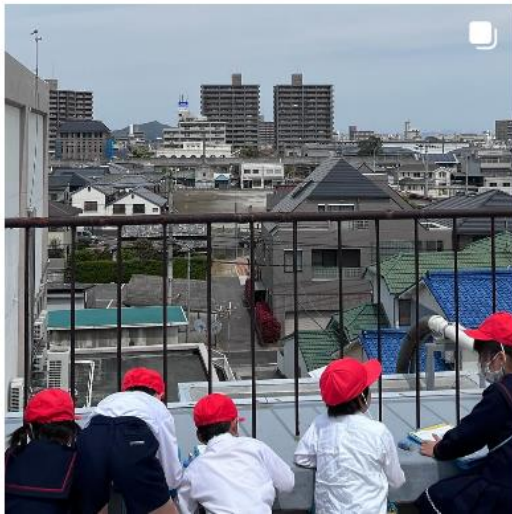
第一部 学級経営について

- クラスの温かい風土づくり
- 係・当番の運営の仕方
- みなさんのお悩み相談会 など

第二部 運動会について

- 目的意識のもたせ方
- 表現の振り付けのアイデア
- 表現指導のポイント など

オンライン併用で行います！
途中参加OK、途中退室OK！



新学期スタート
授業開き
自己調整力を
共有しよう

2年生活科「なかよしパーティー」



Please Follow Us !